

東京2020大会期間中の観客村事業の実施について

区は、区民のみならず、民間企業や区を訪れる多くの人々と一体となり、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）を盛り上げ、後世に継承するレガシーの創出を実現するため、コミュニティライブサイト[※]と連携した大会期間中の「港区観客村」事業（以下「観客村」という。）を関係団体及び企業と連携し実施します。

※ コミュニティライブサイトとは

自治体が主体となり、競技中継とともに大会にちなんだ催し物の実施や、会場内の装飾の実施により、大会の雰囲気を経験できる場をいいます。

区では、パブリックビューイングやフードトラックの配置のほか、競技体験ブースなどを設置し、訪れる多くの方々と東京2020大会の興奮と感動を共有するとともに、競技の魅力はもとより、日本の文化や伝統を身近に感じていただける取組の実施を予定しています。

1 目的

東京2020大会の気運醸成とあらゆる世代の区民の心に残る確かなレガシーを創出するため、一人でも多くの区民が、東京2020大会に関心を持ち、魅力を感じることができるよう、区のみならず、企業と連携した取組を推進することが必要です。

観客村の取組では、東京2020大会のムーブメントを全国各地域へ発信することが可能であり、区は、東京2020大会に関する取組のみならず、区の持つ文化、歴史、貴重な景観資源などを発信することが可能です。

観客村を通じ、様々な分野の関係団体と連携を図ることで、民間企業との新たな連携の可能性や、企業が先行して取り組んでいる事例についてノウハウを共有するとともに、これまで区では取り組んでいない新たな領域の発見と参画の機会を創出するため本事業を実施します。

2 事業の概要

(1) 観客村の概要

観客村では、全国各地と連携したイベントの開催、世界中から集まる観客との交流、各国の文化体験、最先端技術の披露や体験などを実施するとともに、大会オフィシャルパートナーと連携し、各企業が持つコンテンツをPRするブースの設置についても検討します。実施場所は、区立芝公園を中心に、複数会場での実施を目指し、調整を進めます。

(2) 開催期間（予定）

令和2年7月24日～令和2年9月6日

オリンピック終了後、パラリンピック開催までの期間（8月10日～8月24日）については、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「組織委員会」という。）の規定により、パブリックビューイングは実施できませんが、その他のコンテンツは引き続き実施し、特に、パラリンピック競技を体験できるコーナーを充実させるなど、パラリンピック開催までの気運の醸成を図ります。

【コミュニティライブサイト イメージ】



(3) 推進体制

観客村の事業構成には、大会オフィシャルパートナーとの協力、連携が必要であることから、事務局への大会オフィシャルパートナーの関与が不可欠です。

中でも、これまで区と東京2020大会関連イベントを複数共催している「読売新聞社」は、区との関わりも多く、新聞社として、区が求める目標を達成するために必要な情報量を豊富に持ち、オフィシャルスポンサーのみならず、幅広い分野の事業者との連携・調整を推進する能力を有しています。

このことから、観客村の検討及び実施に当たっては、区と読売新聞社で実行委員会を構成し、検討を進めていきます。

具体的な役割分担は以下のとおりです。

◆主な役割分担

主体	主な役割
区	全体統括、会場施設との調整、東京都及び組織委員会との調整、企画（案）の検討、庁内調整
読売新聞社	スポンサー調整、企画（案）の検討及びコンテンツ調整、費用管理、広報・報道業務、運営チームの管理・監督

3 観客村の実施に当たり区に見込まれる効果

観客村では、競技観戦のみならず、観客との交流や文化体験を通じ、区民をはじめとする多くの方々と、大会の感動と興奮を共有するとともに、東京2020大会の開催と港区が持つ歴史、貴重な景観資源の融合による無形（ソフト）のレガシーを創出します。